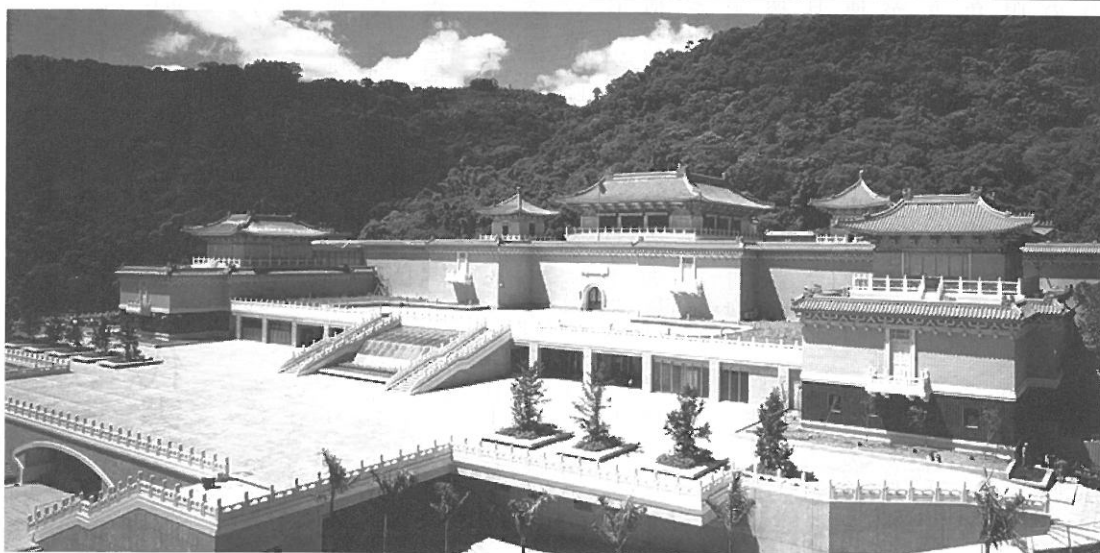


台灣週報

Taiwan Weekly Review

[インターネット版 <http://www.roc-taiwan.org/JP>]

中華民國103年双十国慶節特集



「台北 國立故宮博物院—神品至宝」展が2014年6月24日～9月15日に東京国立博物館で開催され、186件が展示された。その後、10月7日～11年30日に福岡県太宰府市にある九州国立博物館で開催、110件が展示される。同展には、これまで門外不出であった「翠玉白菜」が東京で特別公開され、九州では「肉形石」が2週間限定で公開される。(写真：交通部観光局提供)

双十国慶節祝辞 沈斯淳代表 …… 2

新任処長の紹介 …… 3

進展する台日文化交流

↳ 「国立故宮博物院—神品至宝」展 …… 4
東京と九州で開催

緊密さ増す台日交流 …… 6

連携進む台日経済交流 …… 7

ますます深まる台日観光交流

↳ 年間往来者数400万人 …… 8
に向けて

馬英九総統

「就任6周年基調講演」 …… 9

↳ 若者に5つの政策を提起

台湾のTPP・RCEP参加推進

↳ 馬総統が参加の必要性を語る …… 14

今秋からの台日文化交流活動 …… 16

双十国慶節祝辞

台北駐日經濟文化代表処 代表 沈斯淳

10月10日は中華民國の建国を祝う双十国慶節記念日です。1911年の辛亥革命から数えて、今年は103回目の国慶節を迎えることとなりました。中華民國(台湾)と日本は、長きにわたり友好関係を維持し、さまざまな分野において、緊密な交流を図っております。

台湾と日本は歴史的、地理的、文化的に非常に縁が深いことから、馬英九総統は2008年に就任以来、お互いの関係を「特別パートナー関係」と位置づけ、特に経済・文化・

観光などの分野の交流に力を入れており、大きな進展が見られております。現在、台日関係はこの40年余りの間で、最良の状態となっております。

東京と福岡で故宮展開催

今年、日本で最も注目を集めている台湾関係のイベントは、台北・国立故宮博物院の「神品至宝」展です。6月24日から9月15日まで東京国立博物館で開催され、来場者は40万人を記録し、盛況のうちに東京での展示を終えました。10月7日から

は福岡県の九州国立博物館に巡回して11月30日まで開催されます。東京国立博物館では門外不出の「翠玉白菜」が展示され、話題を呼びましたが、九州国立博物館では、見た目が豚の角煮にそっくりな「肉形石」が期間限定で特別展示されます。

この展覧会は、2011年3月に日本の国会で「海外美術品等公開促

進法」が成立し、故宮展の日本開催の保障となったことにより、実現したものです。法案成立にご尽力された日本の日華議員懇談会をはじめとする国会議員の先生方のご協力に、改めて御礼申し上げます。また、2016年には台湾の国立故宮博物院南部分院で「日本宮廷美術コレクション」展の開催を予定しています。これらを通して双方の文化交流と相互理解が一層深まることを期待しています。

ますます増える台日間の往来

昨年、台日間の往来者数は370万人を突破し、特に台湾から日本への旅行者数は234万人で、過去最高となりました。また、今年1月7月の訪日外国人客数は、台湾からがトップになりました。さらに今年上半期の時点で、日本から台湾への旅行者数が78万人、台湾から日本へ

の旅行者数が146万人、合わせて224万人であり、年間400万人の大台を突破できる見通しです。

強まる台日間の経済連携

日本は台湾にとり第2の貿易パートナーであり、台湾は日本にとり第5の貿易パートナーです。昨年の台日間の貿易額は623億ドルを超え、非常に緊密な経済・貿易関係が伺えます。台日双方は2011年に「台日投資協議」に調印後、「台日産業連携架け橋プロジェクト」を始動し、産業連携の円滑化を図り、さらに昨年11月には「電子商取引」、「鉄道交流」、「海上航空機搜索救難」、「優先権書類電子的交換」、「薬物規制」、「金融監督管理」などの協力を進める覚書や取決めに調印し、「積み上げ方式」による経済協力を着実に進めてきました。今後は台日間の「経済連携協定」(EPA)や「二重課税回避協定」(DTA)の締結に向けて努力してまいりたいと思います。

台湾の地域経済統合参加

台湾にとって対外貿易は経済成長の鍵を握っており、グローバル経済



沈 斯淳・駐日代表

化が急速に進むなかで自らが発展していくには、主要貿易パートナーとの貿易自由化推進や、地域経済統合への参加が欠かせません。我が国は昨年7月にニュージーランドと、11月にシンガポールとそれぞれ経済連携協定に調印しました。同時に、「環太平洋パートナーシップ協定」(TPP)や「東アジア地域包括的経済連携」(RCEP)などの地域経済統合への参加を目指しており、台湾のTPP交渉参加国との貿易額は、対外貿易総額の34%、RCEP参加国では57%を占め、この二つはいずれも台湾にとって極めて重要です。

我が国のTPP参加に関して、6月18日に、日本の佐藤地・外務報道官は、「APEC(アジア太平洋経済協力)のエコノミーに開かれた協定であるので、台湾がTPP参加に関心を寄せているということは良いことである」と述べ、歓迎の意を示しました。我が国がTPPやRCEPといった東アジアの地域経済統合に参加することは、日本との経済貿易関係の強化にも有益であり、より一層の互恵関係が構築できるものと確信しています。

台湾と日本は、自由、民主主義、人権、法治などの核心的価値観を共有しており、これらを踏まえて、地域の安定と繁栄を守るため、緊密に協力していく必要があります。

特に原子力安全、防災、防疫、少子高齢化などの分野は、台日共通の課題であり、共に知恵を集めて協力していくことが望まれています。

野球の物語を通じた感動の共有

1931年に台湾の嘉義農林学校が夏の甲子園大会に出場し準優勝した歩みを描いた映画『KANO』が今年、台湾で大ヒットしました。この映画は日本人の俳優も多数出演しており、来年1月に日本でいよいよ公開されます。その際には、日本でも大きなブームを呼ぶことでしょう。野球の物語を通じた爽やかな感動が台日で共有され、両国の友情が、より強固になることを期待しています。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を祈念し、中華民國と日本国の一層の友好と発展を願ひ、私の挨拶とさせていただきます。

【台北駐日経済文化代表処

2014年10月10日】

新任処長の紹介

台北駐日経済文化代表処横浜分処
粘信士 処長プロフィール

1961年生まれ

学歴：中国政法大学東語学科卒業
早稲田大学政治研究科修士
経歴：

1985年外交部(外務省)入り、
90年台北駐大阪経済文化弁事処課長、
95年台北駐大阪経済文化弁事処福岡分処課長、98年外交部アジア太平洋局日本課長、2000年台北駐大阪経済文化弁事処部長、06年外交部外務報道局審議官、07年外交部大臣官房審議官、09年亜東関係協会副秘書長、11年台北駐日経済文化代表処那覇分処処長

2013年12月4日

台北駐日経済文化代表処横浜分処処長



粘 信士 横浜処長

台北駐日経済文化代表処那覇分処
蘇啓誠 処長プロフィール

1957年生まれ

学歴：東呉大学日本語学科卒業
中国政法大学日本研究所修士
大阪大学大学院日本学専攻修士
経歴：

1991年外交部(外務省)入り、
95年台北駐日経済文化代表処三等秘書、2001年亜東関係協会、02年亜東関係協会秘書組(課)長、06年台北駐日経済文化代表処那覇分処部長、07年台北駐日経済文化代表処一等秘書、11年亜東関係協会副秘書長、13年外交部東アジア太平洋局副局長
2013年12月2日

台北駐日経済文化代表処那覇分処処長



蘇 啓誠 那覇処長

進展する台日文化交流

「台北 國立故宮博物院—神品至宝」展

東京と九州で開催

「国立故宮博物院」展が

東京と九州で開催

6月24日～9月15日の会期で、東京・上野の東京国立博物館（東博）において、「台北 國立故宮博物院—神品至宝」展が開催され186件が展示された。

東博での同展開催に続き、10月7日～11月30日に福岡県太宰府市にある九州国立博物館（九博）で開催され110件が展示される。

翠玉白菜と肉形石が海外初展示

特に同展では、国立故宮博物院（故宮）を代表する門外不出の収蔵品、「翠玉白菜」が東博で、「肉形石」が九博で、それぞれ2週間限定で海外初公開となり、大きな話題を呼んでいる。

東京で記者発表会開催

今年1月29日に東博で、銭谷眞美・東博館長、三輪嘉六・九博館長らが出席し、同展の報道発表会が開かれた。その中で馮明珠・故宮院長のビデオメッセージが披露された。

東博で盛大に開幕式が開催

6月23日午後、東博の平成館において、「台北 國立故宮博物院—神品至宝」展の開幕式典が開かれた。

同式典には、中華民国（台湾）側からは馮明珠・故宮院長、文化部の李應平・次長（政務次官）、台北駐日経済文化代表処（駐日代表処）の沈斯淳・代表らが出席した。日本側からは東博および九博の各館長、日華議員懇談会（日華懇）の平沼赳夫・会長ら各議員、文化庁の青柳正規・長官、公益財団法人交流協会の大橋光夫・会長、各関連メディアの関係者らが出席した。

銭谷・東博館長はあいさつの中で、「本展の宣伝物の一部に『国立』の二文字が抜け落ちていたことにより、引き起こされた問題に対し、台湾の方々に衷心よりお詫び申し上げます」と述べた。

馮・故宮院長は、「私は銭谷館長のお詫びを受け入れるものであり、これは台湾の国民の日本に対する信



6月23日の開幕式で馮明珠・故宮院長(右6)、銭谷眞美・東博館長(右7)平沼赳夫・日華懇会長(右5)らによるテープカット

用回復にもプラスとなるものと信じている。今後の同展が円滑に実行され、円満な成功となるようにしていきたい」と述べた。また、「海外美術品等公開促進法」の法案成立に尽力した日華懇の各議員および各界関係者の努力により、同展の実現が促されたことに対し、銭谷・東博館長および馮・故宮院長はあいさつの中でそれぞれ感謝の意を表した。

被災した東北3県の高校生を招待

6月24日朝、駐日代表処は、東日本大震災で被災した岩手県、宮城県、福島県の高校生ら66名を一般公開の前に同展の会場に招き、馮明珠・故宮院長と高校生たちとの交流会および見学会を行った。

レセプションに各界関係者が出席

6月24日夜、故宮および駐日代表処は、「台北 國立故宮博物院—神品至宝」展の開催に尽力された各界関係者らを招き、レセプションを開催した。馮・故宮院長は挨拶の中で、「今回の展覧会は、台日間におけるきわめて重要な文化交流である。30年余りを経て『海外美術品等公開促進法』が法制化されたことにより、故宮文物のアジアで初めての展覧会が実現した」と述べた。沈・駐日代表は、「今回の展覧会は台日文化交流におけるきわめて意義のある1ページとなった。故宮展が円満に開催されたことにより、台日関係がますます広がり、より一層深まることを期待している」とあいさつした。

周美青・馬總統夫人が故宮名誉団長として来日、特別内覧会の式典出席

「台北 國立故宮博物院—神品至宝」展の会期の後半を迎え、同展では国宝級の書画6点の入れ替え展示を行い、8月5日より一般公開した。これに先立ち4日、東博で特別内覧会および式典が開催され、東博からの招待を受けた馬英九總統夫人の周美青女史が中華民国（台湾）側の



特別内覧会に周美青・馬總統夫人(右10)、馮明珠・故宮院長(右11)、陳士魁・僑務委員會委員長(右7)、沈斯淳・駐日代表(右6)らが出席

名誉団長として、来日出席した。台湾側からは、周・馬總統夫人をはじめ、故宮の馮明珠・院長、僑務委員会の陳士魁・委員長(閣僚級)、亜東關係協会の李嘉進・会長、駐日代表処の沈斯淳・代表らが出席した。

【国立故宮博物院】展前半の參觀者数が22万人以上

銭谷・東博館長は同式典のあいさつの中で、同展にはこれまでに22万人以上の參觀者があつたことなどを紹介した。

馮・故宮院長は「今回入れ替えた『北宋 蘇東坡 寒食帖』など6点の作品は、いずれも日本の文化界でも良く知られたものであり、中華民国

の国宝級文物である」と強調した。

8月下旬に參觀者数30万人突破

【国立故宮博物院】展の入場者数が8月27日午前に30万人を突破し、その記念セレモニーが会場入り口で行われた。30万人目の来場者となつたのは、母親と訪れた都内在住の中学1年生、岸理香子さんだった。

活発な台日文化交流

「台湾原声童声合唱団」が日本公演

周美青・馬總統夫人は、故宮の名誉団長と同時に、「台湾原声童声合唱団」日本公演の名誉団長として今回、日本を訪問した。同合唱団は、8月1日夜に東京・新宿文化センターで公演し、3日には、東京・世田谷区にある昭和女子大学人見記念講堂で開催された「2014こどもコーラス・フェスティバル」に参加したほか、4日に開かれた国立故宮博物院展の特別内覧会の式典会場でも美しい歌声を披露した。

世界らん展に台湾の

「水精霊児童舞団」出演

2月15日に東京ドームで開幕した第24回「世界らん展日本大賞2014」の当日、会場のメインステージ

では、台湾の小中学生で構成された「水精霊児童舞団」が台湾の伝統音楽に合わせた踊りを披露し、同展に彩りを添えた。

沈斯淳・駐日代表が大坂アジア映画祭の開幕式出席

第9回「大坂アジア映画祭」が3月7日(同16日の会期で開催された。7日午後には、JR大坂駅前の時空広場で、「アジアンスタースタイル」が開かれ、「KANON」の馬志翔監督、魏德聖プロデューサー、駐日代表処の沈斯淳・代表らが出席した。

「日台文化交流青少年スカラシップ」

駐日代表処で表彰式開催

【第11回日台文化交流青少年スカラシップ】受賞者の表彰式が3月25日、東京・白金台の駐日代表処代表公邸で開催された。

「于右任回顧展」が池袋で開催

今回は応募総数1255点の中から厳正なる審査を経て、優秀賞以上に入選した15名が出席し、表彰式の後台湾の研修旅行に出席した。

「于右任回顧展」が池袋で開催

没後50周年を記念し、「于右任回顧展」が4月23日(同27日の会期で、東京・池袋の東京芸術劇場展示ギャ

ラリーにおいて開催された。

23日に行われた開幕式で、駐日代表処の沈斯淳・代表が、「同展を通して、日本の方々に台湾で守り伝えられてきた書道芸術についての理解を深めていただき、互いに切磋琢磨して書道芸術交流を増進し、台日文化交流がより一層深く、緊密になるよう祈念している」とあいさつした。

台日合同の歌劇『梧桐雨』

横浜で上演

横浜市横浜みなとみらいホールで6月21日、台日合同の歌劇『梧桐雨』楊貴妃物語』が上演された。

上演後に行われたレセプションで挨拶した李應平・文化部次長は、「楊貴妃の物語を描いた『梧桐雨』は、西洋と東洋の音楽文化の出会いであり、高難度な演出を台日共同で作りに上げることができた」と述べた。

台湾美術院の作家たちの作品展が

渋谷の松濤美術館で開催

台湾美術院所属の作家20名の作品及び特別出品作など合計54点の作品を展示した「いま、台湾―台湾美術院の作家たち」展が、東京・渋谷の松濤美術館において、8月9日(9月21日の会期で開催された。

緊密と増す台日交流

台日漁業委員会

漁船作業規則を制定

第3回「台日漁業委員会」会議が1月23日と24日に台北で開催され、「台日漁業協議」の適用水域における漁船作業規則について、話し合いを完了し、これを定めた。

同規則の主な項目は、相互連絡体制の確立、漁具の放棄および持ち帰りの禁止、マグロ延縄漁業におけるトラブル回避のためのルールなどであり、作業方法がそれぞれ異なる台日双方の漁船の同水域における作業の際のトラブル発生を回避し、円滑に解決できるようにした。

【外交部 2014年1月24日】

馬英九総統

日華懇の平沼起夫会長と会見

馬英九総統は4月28日、「日華議員懇談会」(日華懇)の平沼起夫会長と会見し、最近の台日関係の進展を説明した。

馬総統は「日華懇の協力の下、3年前に日本の国会で『海外美術品等

公開促進法』が通過したことから、我が国の国立故宫博物院が今年6月から東京国立博物館、10月から九州国立博物館で特別展を開催するに至った」と述べ、このような両国の文化交流のイベントが盛大に開催されることは、きわめて歴史的な意義があると強調した。

【総統府 2014年4月28日】

台湾のTPP参加

日本の善意歓迎

6月18日午後に開かれた日本の外務省定例記者会見において、佐藤地務省報道官は「環太平洋パートナーシップ協定(TPP)はAPEC(アジア太平洋経済協力)のエコノミーに開かれた協定であるので、台湾がTPP参加に関心を寄せているということは良いことである」と述べた。

これに関して台湾の高安・外交部報道官は、「台湾のTPP参加はすべてのTPPメンバーに利益をもたらす。共に地域の繁栄の増進のために貢献していきたい」と述べ、日本

側の善意に歓迎の意を示した。

馬英九総統

交流協会の沼田代表と会見

8月22日、馬英九総統は日本交流協会台北事務所の沼田幹夫・新代表と会見し、沼田代表の着任を歓迎すると共に、台日間の交流と協力が引き続き深化することを期待した。

【総統府 2014年8月22日】

台湾の6県市

静岡県と「防災相互支援協定」

台北市、基隆市、新北市、桃園県、嘉義県、台南市の6県市は2月17日に内政部消防署において、日本の静岡県と「防災相互支援協定」にそれぞれ調印した。

「防災相互支援協定」の主な内容には、関連する連絡窓口の構築、平時の実務協力(防災組織体制、支援活動、調査研究の情報共有、防災訓練、研修人員の派遣交換など)、災害時の相互支援(支援申請のプロセス、物資調達、輸送など)、被災後の復興再建などが含まれている。

台南市と加賀市

友好都市協定調印

台南市の頼清徳市長と日本の石川県加賀市の宮元陸市長は7月7日、

両市の友好都市協定に調印した。

頼市長は「台南の烏山頭ダムを設計・建設した八田與一技師も石川県出身であり、台南と石川県の交流はきわめて密接である。友好都市協定に調印後、双方の交流は必ずより一層友好的なものとなる」と述べた。

さらに頼市長は、「加賀市は温泉、桜、茶道などが特に有名である。台南は台湾の古都であり、歴史・文化遺産が豊富であり、温泉もある。両市には共通点が多く、より一層緊密な交流活動を通じて、経済・文化交流を深めていきたい」と強調した。

台北市と松江市

交流促進覚書調印

台北市は日本の島根県松江市と7月25日に交流促進覚書を締結した。郝龍斌・台北市長は「台北市と松江市の友好交流は、2007年の建国花市牡丹展から始まり、台北市で2010年に開催した国際花卉博覧会では、松江市が最初に出展に際した海外団体となり、大きな励みになった。さらに松江市は2012年から3年連続で、台北市政府庁舎ロビーで牡丹展を開催している」と述べ、

両市の交流を説明した。

連携進む台日経済交流

台日産業連携推進オフィス

和歌山県と産業協力覚書調印

台日産業連携推進オフィス(TJPO)は2月27日、和歌山県と産業協力覚書に調印した。

和歌山県は鋼鉄、石油産業等の工業および柑橘類、梅、柿、山椒などの農産物の生産が盛んで、台湾と和歌山県の製造業の相互補完や、和歌山県の特産品の台湾への販路拡大などで協力する。

台湾の經濟部工業局は、同覚書調印に関して、台湾の企業と和歌山県の中小企業が連携することにより、お互いの産業の付加価値を高め、国際競争力が向上することに期待を示した。

台湾と九州の産業協力連携が深化

中華民国工商協進会の駱錦明・理事長を団長とする訪日団は、2月24日～同26日、九州を訪問し、日本の地方との連携強化を図った。

一行は2月25日に福岡において、九州経済連合会と共同で「九州・台

湾経済交流セミナー」を開催し、陳冲・総統府資政(上級顧問)が「産業リンク 成功においても堅実に台日連携でウィンウィンを創出」と題し、講演した。

この九州の産業界との交流を契機に、「台日産業連携推進オフィス」(TJPO)は今後も、日本の地方産業との協力関係を引き続き深化させていくと共に、台湾の産業界を集約し、台湾の業者と日本の地方組織を紹介するビジネス交流を行っている。

【經濟部 2014年2月26日】

フーデックスで台湾の食品PR

アジア最大級の食品・飲料専門の見本市である「FOODEX JAPAN 2014(第39回 国際食品・飲料展)」が3月4日に千葉市美浜区の幕張メッセで開催した。

台湾は今度も「台湾パビリオン」

を開設し、112社・団体の食品関連メーカー、商社および台湾南部地方自治体(高雄市・台南市・嘉義県・

屏東県)等のブースが設けられ、過去最大規模となり、今回の参加国のなかでは4番目に大きなパビリオンとなった。

台湾パビリオンでは4日午前におープニングセレモニーが行われ、台湾側の団長である葉明水・台湾貿易センター(中華民国対外貿易発展協会)副秘書長および徐瑞湖・台北駐日経済文化代表処副代表らがテープカットを行った。このほかオープニングセレモニーでは、台湾のパナナ、マンゴー、ドラゴンフルーツ、枝豆などのマスケットキャラクターが登場し、台湾の農産物をPRした。

アジア経済統合

台湾の役割強調

「東アジアの経済統合と日本、台湾の役割」と題する国際シンポジウムが7月10日、アジア調査会の主催により東京都内で開催され、パネリストとして台湾から張俊福・經濟部国際貿易局長が出席した。

張局長は、台湾と東アジア地域経済統合について、貿易、投資、産業チェーンなどの面から台湾の重要性を強調し、台湾は中国大陸とはECAF A、欧州連合(EU)とはECA、

米国とはTIFAの枠組みによる経済連携を強化していくと同時に、TPPおよびRCEPといった地域経済統合参加を積極的に推進していることを説明した。さらに台日間については、「積み上げ方式」により、投資、産業連携、電子商取引、金融などの協力取決めを積み重ねており、今後は台日EPA締結を推進し、TPPとRCEP市場の開拓と育成にさらなる協力を深めていくべきであるとの考えを示した。

テクノフロンティア

台湾企業24社が出展

東京ビッグサイトで「テクノフロンティア2014」が7月23日に開幕し、台湾は会場に「Taiwan Excellence(台湾精品)」パビリオンを設け、台湾の優良企業24社による105点の製品を展示した。

同展では、台湾電機電子工業同業公会(電電公会)の欧正明・副理事長が台湾の先端技術産業の動向について発表し、「これまで、台湾のメーカーは日本からの受託製造を行ってきたが、今後は新製品を共同で開発および設計することが可能である」と述べた。

ますます深まる台日観光交流

～年間往来者数400万人に向けて～

昨年台日間の旅行客数は
約380万人

台湾の交通部観光局および台湾観光協会が発表した観光統計によると、2013年1月～12月に台湾を訪れた日本人旅行客数は143万4346人だった。一方、台湾から日本を訪れた旅行客数は234万6007人で、前年同期比50.36%の大幅増となった。以上から、昨年の台日間の往来旅行客総数は378万353人となった。

【台湾観光局、台湾観光協会東京事務所 2014年1月21日】
札幌雪まつりに台湾の大氷像が登場
北海道札幌市で、2月5日より開催された第65回「さっぽろ雪まつり」に、台北駐日経済文化代表処は毎日新聞社と協力し、今年も大氷像を制作した。この大氷像のテーマは「台湾―伝説とモダン」で、「国立故宫博物院」「台北101ビル」「台湾高速鉄道（台湾新幹線）」など台湾を代表する観光スポットを再現した。

玉山と富士山が友好山提携に調印
台湾最高峰の玉山（3952m）と、日本最高峰の富士山（3776m）が、2月7日に友好山提携を締結した。調印式は中華民国山岳協会の何中達・理事長と日本富士山協会の庄司清和・副会長により山梨県富士吉田市で行われた。

台日同じ駅名の関連イベント始動、
東儀秀樹さんが台湾観光親善大使に
東京都内のホテルで3月10日、台湾の交通部観光局（台湾観光局）による「台日同名駅観光プロモーション



イベント始動の発表会に沈斯淳・駐日代表(左4)、東儀秀樹さん(左5)らが出席

ン」発表会が開催された。

会場では雅楽師である東儀秀樹さんの台湾観光親善大使任命式も行われ、台湾観光局の張錫聰・副局長から任命状が手渡された。

野柳と日本の秋吉台が「観光交流・

学術交流促進の協定書」に調印

「女王頭」などの奇岩で有名な新北市にある野柳地質公園と日本の秋吉台国定公園は2月15日、野柳遊客中心（野柳ビジター・センター）において、「姉妹公園」の関係となる「観光交流・学術交流促進の協定書」に調印した。

台湾の台鉄「平溪線」と日本の

「鳥海山ろく線」が姉妹鉄道協定

交通部台湾鐵路管理局（台鉄）の「平溪線」と、日本の秋田県を走る由利高原鉄道「鳥海山ろく線」が4月30日、姉妹鉄道協定を締結した。

台日観光サミット

屏東県墾丁で開催

第7回台日観光サミットが5月23日、台湾南部の屏東県墾丁で開催され、台湾と日本から約180名が出席した。

この中で台湾観光協会の頼瑟珍・会長は、「今年、台日間の相互往来



陳調和・駐日代表処副代表(右3)、小林幸子さん(右4)らが出席

者数400万人突破は、絶対に問題なく達成できる」と強調した。

台湾観光PRラッピングバスが都内

から富士山駅と富士五湖へ運行

台湾観光PRのラッピングバスが7月26日から1年間、富士急高速バスの「新宿～富士五湖」および「羽田空港～富士山（駅）」の2路線で運行されることになった。

運行開始前日、台湾観光局はこの2路線を走る2台の観光ラッピングバス完成披露会見を都内で行った。会場には、初代台湾観光親善大使の小林幸子さんも登場し、台湾のすばらしさをアピールした。